

ケンブリッジ大学に於ける「総合的和本リテラシー」の教育

ラウラ・モレッティ (Laura Moretti)
The University of Cambridge – Emmanuel College
lm571@cam.ac.uk



中野三敏氏『和本のすすめ』



和本リテラシー



発端

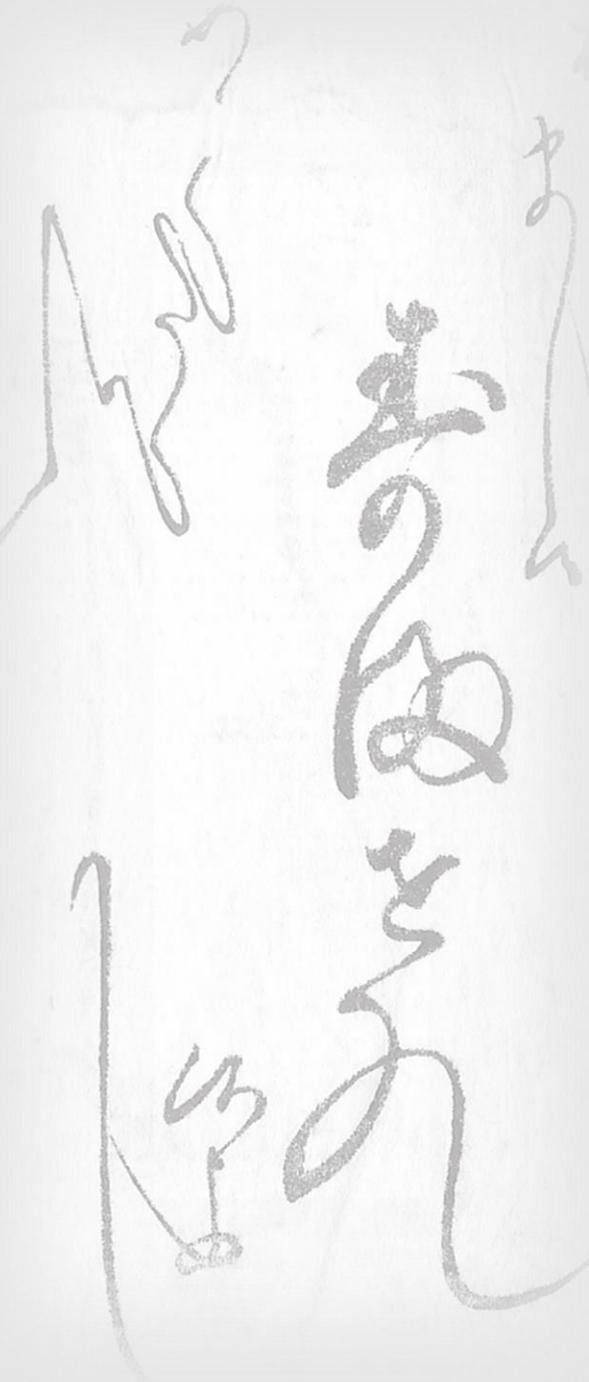
おのれ

私の世代の勉強の仕方

- 日本人の指導教官の許で勉強する
- 翻刻の出版（貞享二年刊の『竹斎療治之評判』の翻刻し、『近世初期文芸』に掲載）

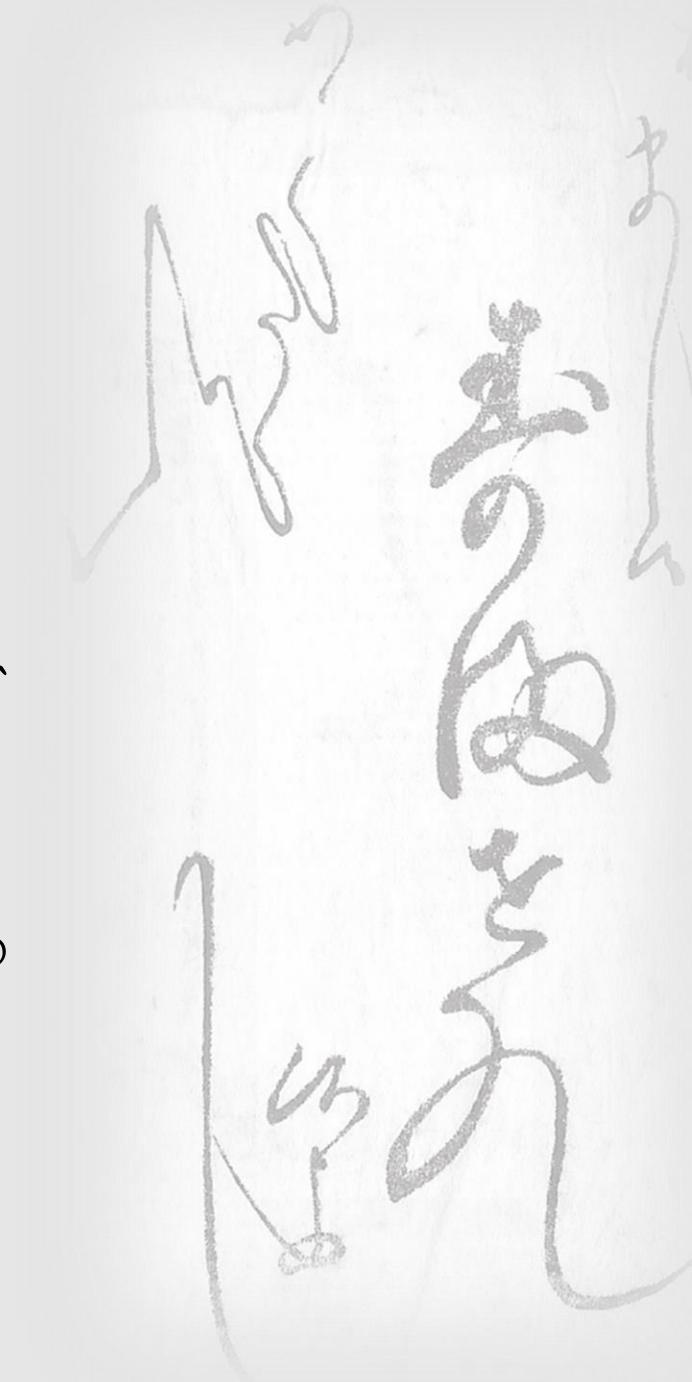
苦労の点

- 日本人の学習者のために考えられた勉強の仕方が外国人にとってはそれほど効率的ではない
- 翻刻の規則が定まっていない環境で翻刻を考える



変体仮名・くずし字を読むスピードを上げる

- 未翻刻の資料の翻刻の発表の蓄積
- 翻刻する以外の数多くの資料を対象にして毎日少なくとも一時間学習する事
- 学部生に向かって変体仮名・くずし字を教え始めた事とその仕事に伴う責任



変体仮名・くずし字を読む正確さを身に付ける

- 翻刻を作成する作業

決心



近世文学の研究を希望する次の世代には、変体仮名・くずし字を学ぶ際に自分が直面した同じ苦労をさせない。



2012年6月大英図書館

同年8月University of Pennsylvania

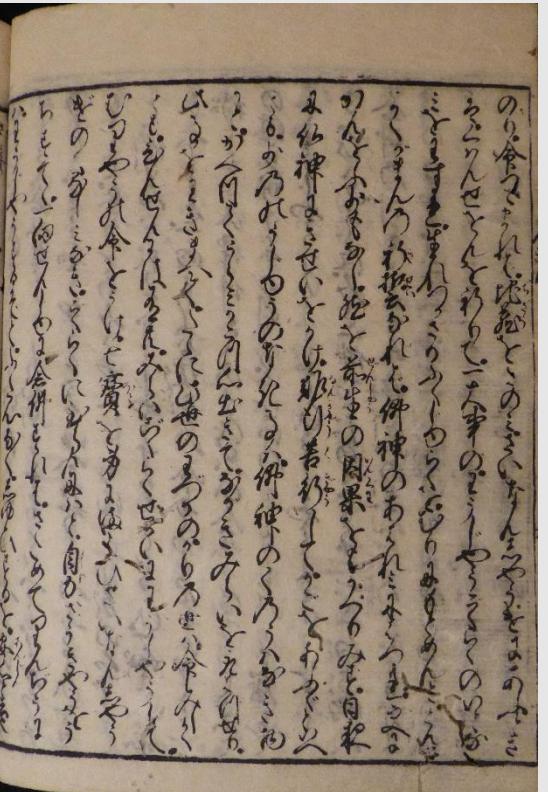


- ① 資料の選び方
- ② 変体仮名をより簡単に覚える方法

資料の選び方

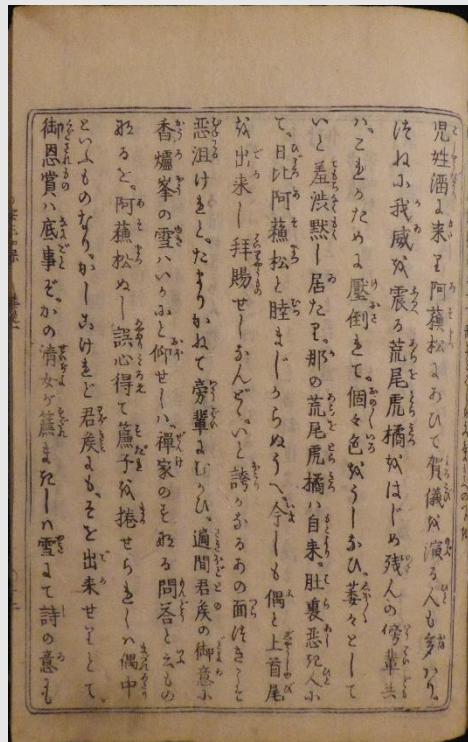


時代によって且つジャンルによって書体が大きく変わる。

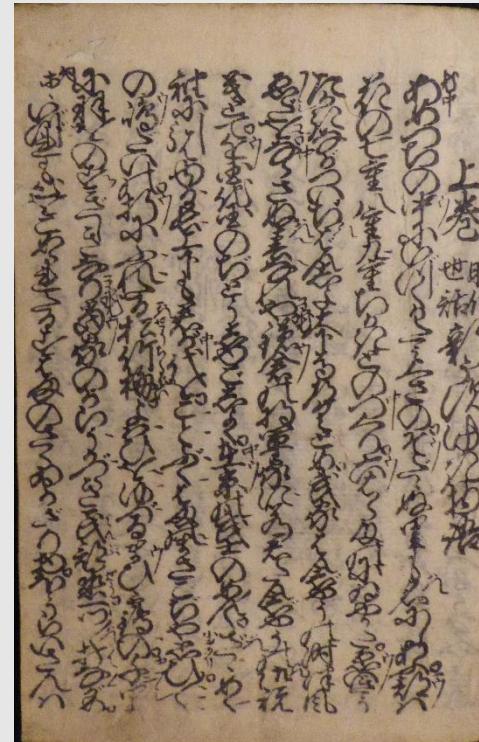


近世前期 仮名法語

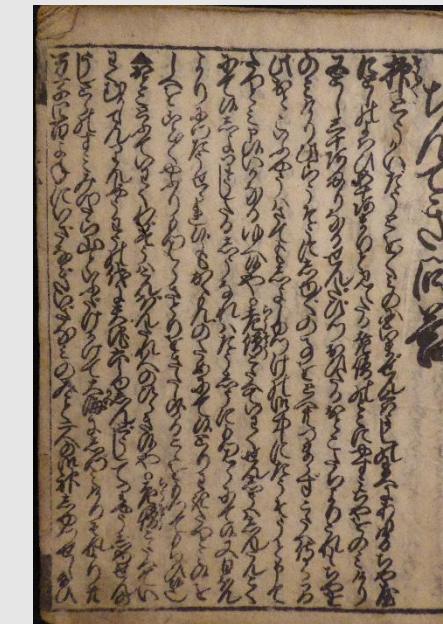
資料①を参照



近世後期 読本



近世中期 淨瑠璃本



近世中期 鱗形屋本



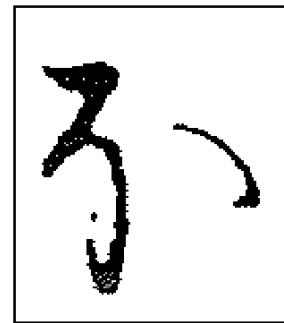
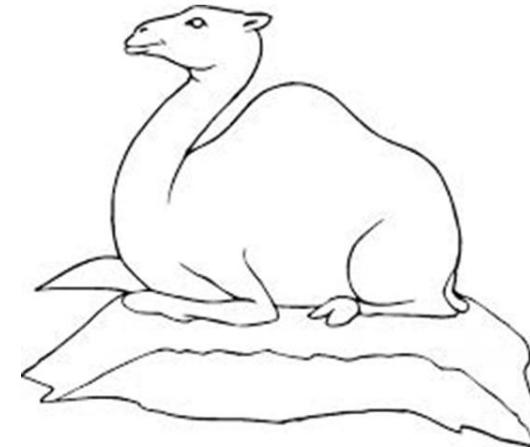
近世後期 黄表紙

近世後期 嘸本（写）

変体仮名をより簡単に覚える方法



仮名の形を印象に残りやすい、馴染みのある画像に連想させるという方法。



ケンブリッジ大学 イマヌエル・カレッジ サマー・スクール



書体

文体 → 漢文・和漢混交文・候文など

媒体



総合的和本リテラシー



二松學舍大学 山邊進先生



資料の一枚目をご参照



資料の一枚目をご参照

参加者

最大限 20人 (応募者は毎年30人前後)

対象：院生・研究者・美術館のキュレーター・図書館員
(古典籍のコレクションを扱う方のみ)

ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリアなど世界中から集まる



資料の一枚目をご参照

教育時間数

総72時間

教育内容

草書体和文（変体仮名・くずし字）

楷書体漢文

草書体候文



資料② 第一週目 初日

→ 変体仮名・くずし字のオンライン・コース



資料② 第一週目 土曜日



書道家 惠杏壽昌鶴先生





資料② 第一週目 初日

- 寺子屋式お稽古
- 「書くことによって覚える」というアプリ



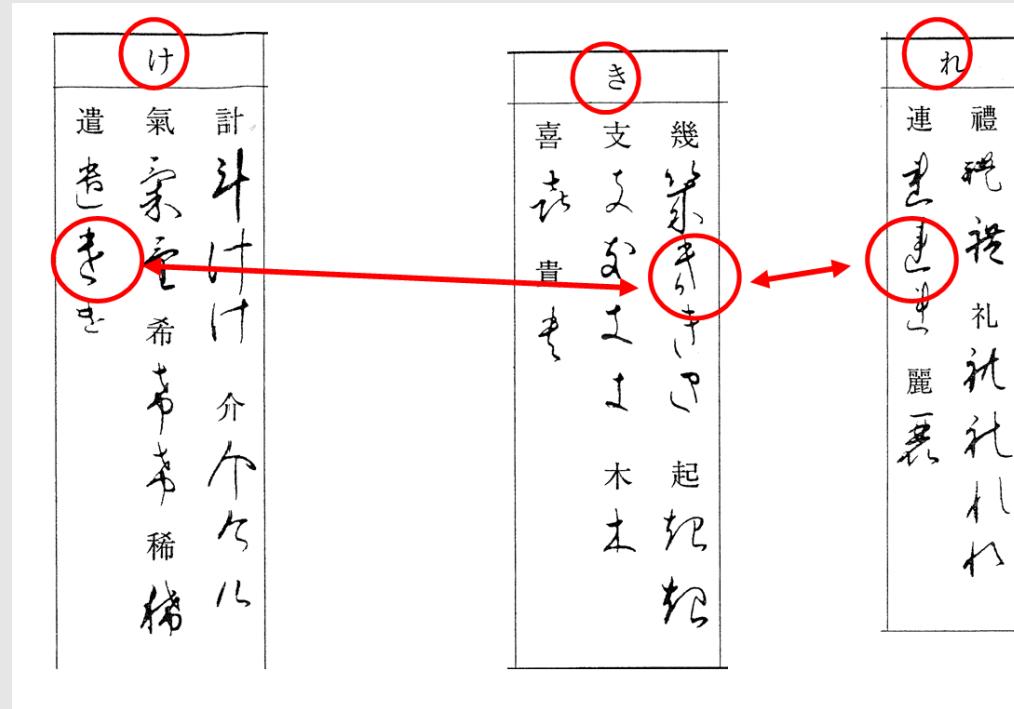
総合的和本リテラシー

解読（書体・文体）

翻刻



る 留
流 は は は 類 亂 亂 亂 累



総合的和本リテラシー

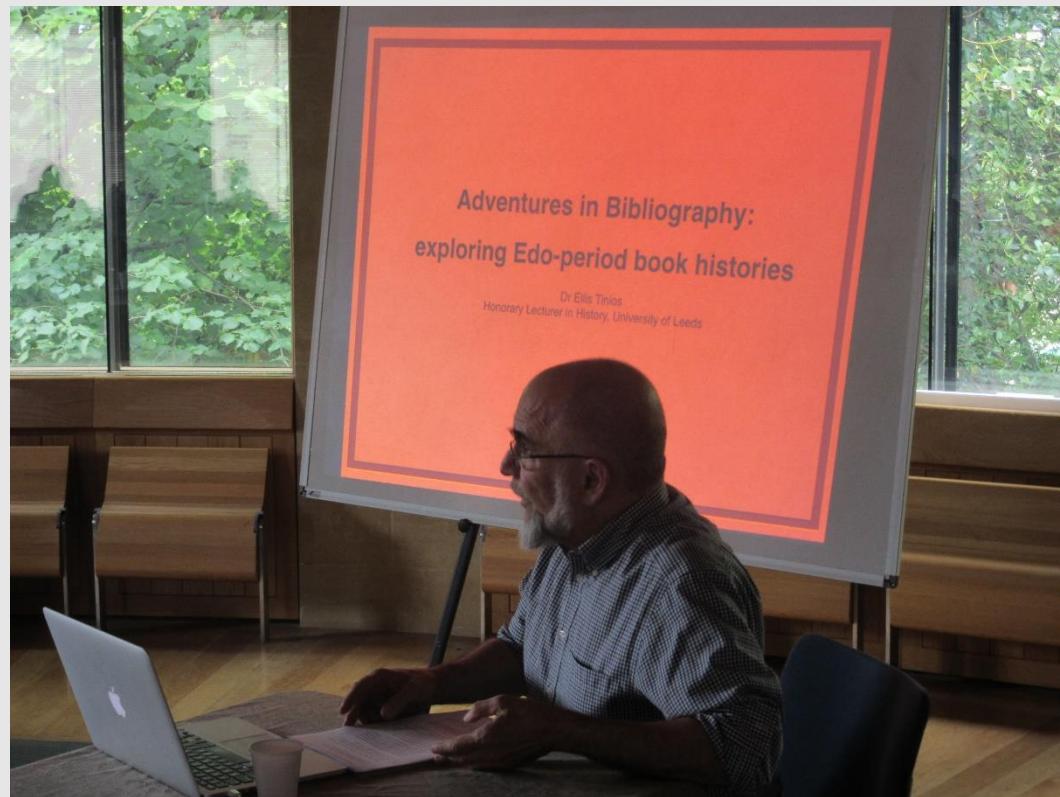
解読（書体・文体）

翻刻

媒体（書誌学）



Ellis Tinios先生



今後の課題

玉初日このひにされば
ねむる處ところは事ことも知しりぬ
那須なすのの大今おほいま村
をまつ春先はる月つき十九じゅう日ひ
花見はなみ笛笛春酒はるさけ酒さけ
ご書か月つき日ひもととね
於お古い源げん草くさ花はな之の處ところ
主お方かた方かた處ところ也や
私わかわは右うて左さかか事こと
あひれすあひれすしの達たつの
花はな園えん有あはれむらむ
花はな深ふか也や

山中

二月廿六日



猿

今後の課題

① 日本人・外国人の協力

→ デジタル・コーパスの実現への貢献

② デジタル・メディアの役割

→ デジタル・メディアの可能性とその効果を探りながら、書体・文体の勉強も今まで通り必要である

③ デジタル開発に専念している研究者と書体・文体を教える事に専念している研究者の協力

